

2020年度 学校関係者評価委員会 結果

自己点検・自己評価について

- ・コロナ禍の中で、文科省は「GIGA スクール構想」による教育の ICT 化を前倒しし、小中学校では令和 2 年度中に一人一台の端末が配付された。こうした流れの中で、県立高校でも「BYOD」による教育の ICT 化が急激に進められることになった。今後、小中高校時代に ICT を活用した授業になじんだ学生が入学することで、教育の ICT 化が一層求められる状況にある。
- ・国家試験の合格率、就職率、退学率ともに極めて良好な数字である。
- ・防災マニュアルが整備されて良かった。さらに、いつ、だれが検討するかというスケジュールと担当部署が定められているとよい。

卒業時カリキュラム評価について

- ・コロナ禍での学校運営にも関わらず、学生からの評価は 19 項目中 14 項目で過去 3 年間で最も良い評価がつき、平均値も目標の 3.5 となっている。とりわけ国家試験対策への満足度が 3.8 という高評価であることは素晴らしい。過去 2 年間との評価の違いの理由がどのような点にあるかの分析により、次年度以降にも生かされると考える。